

令和5年度

財政援助団体等監査報告書

令和6年3月28日 提出

岡谷市監査委員

5監第38号  
令和6年3月28日

岡谷市長 早出一真様  
岡谷市議会議長 今井康善様

岡谷市監査委員

山岸 徹  
竹花 直子  
中島 秀明

財政援助団体等監査の結果について（報告）

地方自治法第199条第7項の規定に基づき、財政援助団体等監査を実施したので、同条第9項の規定により次のとおり報告します。

# 監査報告書

この監査は、全国都市監査基準に準拠した岡谷市監査基準に基づき実施した。

## 1 監査の対象及び範囲

### (1) 監査の種類

地方自治法第199条第7項の規定に基づく財政援助団体等監査

### (2) 監査の対象

株式会社 やまびこスケートの森

- ・令和4年度 株式会社やまびこスケートの森 出資金 25,000,000円  
(所管課 地域創生推進課)
- ・令和4年度 岡谷市やまびこ国際スケートセンター指定管理料 80,291,000円
- ・令和4年度 岡谷市やまびこ国際スケートセンター価格高騰対策支援事業負担金  
6,083,000円 (所管課 スポーツ振興課)
- ・令和4年度 岡谷健康福祉施設(ロマネット)指定管理(利用料金制)  
(所管課 健康推進課)
- ・令和4年度 岡谷健康福祉施設(ロマネット)運営支援事業負担金 15,803,710円
- ・令和4年度 岡谷健康福祉施設(ロマネット)価格高騰対策支援事業負担金  
6,984,000円 (所管課 健康推進課)

### (3) 監査の実施日

令和6年2月5日(月)

### (4) 監査執行者

岡谷市監査委員 山 岸 徹  
竹 花 直 子  
中 島 秀 明

#### (5) 監査の目的

岡谷市が補助金等の財政的援助を行っている団体等（出資法人、補助金等交付団体、指定管理者）について、令和4年度の事業を対象に、出納その他の事務が適正かつ効率的に行われているかを確認・検証するとともに、当該団体等の事務が出資等の目的に沿って適正に、かつ効果的に行われているかを主眼として監査を実施した。併せて、市の所管部局の当該団体に対する指導等が適正に行われているかについても監査を実施した。

#### (6) 監査の実施手続

令和4年度の出納その他事務の執行について、岡谷市からの補助金等に係る出納、その他事務が適正かつ効率的に執行されているかどうかを主眼とし、決算関係書類等あらかじめ提出を求めた資料の閲覧・関係職員からヒアリングを行い、それぞれ具体的に着眼点を定め監査を実施した。

#### (7) 監査の着眼点

##### ○出資団体関係（㈱やまびこスケートの森）

- ア 定款並びに経理規程等諸規程は整備されているか。また、それら諸規程に基づいた事務が執行されているか。
- イ 設立目的（＝出資目的）に沿った事業運営が行われ、出資が生かされ、市民の福祉の増進につながっているか。
- ウ 決算諸表等は法令等に準拠して作成されているか。
- エ 事業成績、財務状況は適正に決算諸表等に表示されているか。
- オ 経営成績及び財政状態は良好か。
- カ 収益率及び財務比率は良好か。また、人件費の内容、金額は事業規模に対して適切か。
- キ 関係帳票の整備、記帳は適切か。
- ク 会計経理及び財産管理は適切か。
- ケ 資金の運用は適切か。また、経費節減は図られているか。
- コ 会社の固有財産並びに市からの賃借財産の管理等は適正か。

##### ○指定管理者関係（㈱やまびこスケートの森）

- ア 施設は関係法令等の定めるところにより、善良な管理者の注意をもって適切に管理されているか。

(ア) 法定点検が必要な施設、設備等は定められた時期に適切に点検が行われているか。また、点検結果で改善すべき事項があった場合に速やかに措置が講じられているか。

イ 協定等に基づく義務の履行は適切に行われているか。

(ア) 市長等との協議、通知、各種報告は協定どおりなされているか。特に協議、承認なく処理しているものはないか。

(イ) 協定等の内容に反する第三者への委託を行っていないか。

(ウ) 管理に関する経費は、指定管理者の他の経費と区分され会計されているか。また、管理に関する経費の請求、受領は協定等どおりなされているか。

(エ) 経費の負担区分が指定管理者となっている修繕等を放置、先送り等していないか。

(オ) 事業報告書の提出は期限内になされているか。

(カ) 事業報告書は適正に作成されているか。（管理業務の実施状況及び利用状況、料金収入の実績や管理経費の収支状況等）

(キ) 使用料を市の収入とする場合、市への納付は適切に行われているか。

(ク) 経費節減は図られているか。

(ケ) 住民の平等利用は確保されているか。

(コ) 施設及び設備の維持管理は、仕様書等どおり適切かつ効果的に行われているか。また、施設賠償責任保険の加入及びその内容は適正か。

(サ) 個人情報の保護に関して必要な措置を講じているか。

(シ) 災害・緊急時の対応は明確になっているか。

(ス) 協定書等により貸与された物品の管理及び処分は適正になされているか。

ウ 利用料金制を採用しており、かつ指定管理者が定める場合、利用料金の設定等は適正になされているか。

(ア) 利用料金はあらかじめ承認を得ているか。

(イ) 利用料金の収納は適正に行われているか。

(ウ) 利用料金は、管理経費に充当され適正に運用されているか。

(エ) 利用料金を減免している場合、その手続は適正に行われているか。

(オ) 地方公共団体に納付金を納めることになっている場合、納付時期、納付金額及びその計算根拠は適正か。

エ 利用料金制を採用せず、指定管理者が使用料等を徴収又は収納している場合、その

使用料等を適正に払い込んでいるか。

オ 利用促進及び利用者サービスの向上のための取組はなされているか。

カ 公の施設の管理に係る収支会計経理は適正になされているか。また、他の事業との会計区分は明確になっているか。

キ 公の施設の管理に係る管理規程、経理規程、情報セキュリティ規程等の諸規程は、整備されているか。また、それら諸規程に基づいた事務が執行されているか。

ク 行政財産の目的外使用許可等、地方公共団体の長のみが行うことができる権限に属する事務が行われていないか。

ケ 自主事業を実施する場合は、協定等に基づき適正に実施されているか。

○所管部局関係（地域創生推進課、健康推進課、スポーツ振興課）

ア 公の施設の管理を行わせる指定管理者の指定は、法、条例等に根拠をおいているか。

(ア) 指定管理者の指定の手續、指定管理者が行う管理の基準及び業務の範囲その他必要な事項は条例に規定されているか。

(イ) 利用料金制を採用している場合、条例に規定されているか。また、指定管理者が利用料金を定める場合、利用料金は合理的なものになっているか。その承認の手續は適正かつ迅速に行われているか。

(ウ) 利用料金制を採用せず、指定管理者が使用料等を徴収又は収納している場合、その委託の手續がされ、告示とともに納入義務者の見やすい方法により公表されているか。

(エ) 自主事業の承認は適切か。

イ 指定管理者の指定は、適正・公正に行われているか。

(ア) 指定管理者に管理を行わせる施設の名称、指定管理者となる団体の名称、指定期間等について、議会の議決を経ているか。

(イ) 指定に当たって、学識経験者等の意見等を聴いているか。（条例等で義務付けられている場合）

(ウ) その他指定の手續は条例等に基づき適正に行われているか。

(エ) 公募を行わないで指定管理者を選定した場合、その選定理由は適切か。

(オ) 指定管理者の経営状況に注意を払っているか。

ウ 管理に関する協定等の締結は、適正に行われているか。

エ 協定書等には、必要事項が適正に記載されているか。

(ア) 管理する施設及び設備等の維持管理の範囲及び仕様、業務の内容は明確になっ

- ているか。
- (イ) 指定管理者との間の経費の負担区分は、明確になっているか。その負担区分は合理的か。
  - (ウ) 区分経理を明記しているか。
  - (エ) 条例等に定められた管理の範囲を超える内容となっていないか。
  - (オ) 個人情報の保護に関して必要な措置を講じているか。
  - (カ) 備品の取扱いに関する事項は適切に記載されているか。
  - (キ) 災害・緊急時の対応は明確になっているか。
- オ 管理に関する経費の算定、支出の方法、時期、手続等は適正になされているか。
- カ 事業報告書の点検は適切になされているか。
- キ 指定管理者に対して適時かつ適切に当該業務又は経理の状況に関し報告を求め、調査し、又は指示を行っているか。
- ク 指定管理者において施設の利用促進を図ることとしている場合は、利用状況に注意を払い、利用の奨励に努めているか。
- ケ 指定管理者制度の採用により、効率的な管理、運営が図られ、利用促進が働くものとなっているか。
- コ 利用料金制を採用している場合、そのことによって市民サービスの向上につながっているか。また、採用していない場合は、市民サービスの向上のため利用料金制を採用する余地がないか検討がなされているか。
- サ 本来、市が実施すべき修繕等を放置しているものはないか、又は指定管理者の費用で実施させていないか。
- シ 出資による権利は財産台帳に登録され、決算書類に適正に表示されているか。
- ス 出資者としての権利行使は、適切に行われているか。
- セ 出資団体の経営成績及び財政状況を十分把握し、適切な指揮監督を行っているか。
- ソ 有価証券の保管は良好か。
- タ 財産貸付に係る手続き等は適正か（契約内容、財産貸付価額の設定等）。

## 2 監査対象団体の概要等

### (1) 株式会社やまびこスケートの森

#### ア 団体の概要

株式会社やまびこスケートの森は、平成4年12月4日に第三セクターの母体とな

る民間会社として設立され、平成5年3月31日に第三セクターに移行し、平成6年7月23日よりアイスアリーナ等の営業が開始された。その間、岡谷市から合わせて約5億円、総計で14億4,500万円（18社）の出資を受けて設立されている。

平成8年度には、株式会社やまびこスケートの森の厳しい経営状況に対して、アイスアリーナの建設及び第三セクター設立の経過を踏まえ、未来を託す青少年の健全育成とスケート文化の継承、また、市民の健康福祉の向上等岡谷市としての総合的な判断のもと、アイスアリーナ及び附属施設の一部を市費で取得し普通財産としたうえで、会社の経営が安定するまでの期間、建物等を無償で貸し付ける支援策が講じられた。

平成16年12月には、健全経営を目指すことを目的に、既に減少している会社財産と資本を一致させるため、資本を減少して欠損を補填したことで、岡谷市の持ち株数1万株、出資金額5億円は、持ち株数500株、資本金に対する出資金額2,500万円となっている。

平成18年度には、岡谷市やまびこ国際スケートセンター、平成23年度には、ロマネットの指定管理者として業務を行っている。施設の管理運営は、協定書、仕様書及び業務マニュアル等により実施されている。

#### イ 施設の概要

① 名 称：岡谷市やまびこ国際スケートセンター

所在地：岡谷市4769番地14

規模：敷地面積 148,724.84㎡ 延床面積 2,834㎡

開設年月：平成6年9月

主要施設：管理棟、放送記録棟、機械棟、選手控室、リンク、夜間照明、観覧席、  
駐車場

② 名 称：岡谷健康福祉施設（ロマネット）

所在地：岡谷市長地権現町四丁目1番24号

規模：敷地面積 4,636㎡（うち借地762㎡） 建物延面積 2,181㎡

開館年月：平成7年8月

主要施設：大浴場、サウナ風呂、食堂、売店、休憩室、駐車場

#### ウ 施設の指定管理について

株式会社やまびこスケートの森が受託している施設にかかる指定管理の概要は下記のとおりである。



施設の名称	指定管理期間	管理経費の区分 (注1)
岡谷市やまびこ国際スケートセンター	令和3年4月1日から 令和8年3月31日まで	指定管理料
岡谷健康福祉施設（ロマネット）	平成31年4月1日から 令和6年3月31日まで	利用料金制

(注1) 施設の維持管理に必要な管理経費の区分は、自治体が支出する指定管理料（ただし、指定管理者が徴収した使用料は公金として自治体に納める）と、指定管理者が徴収した利用料金収入で賄う利用料金制（自治体からの支出はなし）の二つに大別される。

#### エ 指定管理料等（委託料、負担金）の状況

今回の財政援助団体監査対象である令和4年度の岡谷市やまびこ国際スケートセンターに係る指定管理料として80,291,000円、令和4年度岡谷市やまびこ国際スケートセンター価格高騰対策支援事業負担金として6,083,000円、また令和4年度岡谷健康福祉施設（ロマネット）に運営支援事業負担金として15,803,710円、令和4年度岡谷健康福祉施設（ロマネット）価格高騰対策支援事業負担金として6,984,000円が岡谷市一般会計より支出されている。

#### オ 組織構成について

株式会社やまびこスケートの森の組織全体の役員構成は、役員組織としての取締役会及び監査役が設置され、取締役会長1名、代表取締役1名、専務取締役1名、取締役5名、監査役3名となっており、会長は岡谷市長であり取締役には岡谷市企画政策部長が、監査役には岡谷市副市長が含まれている。また、株式会社やまびこスケートの森の社員は65名で常勤役員2名、社員16名、嘱託社員2名、パート・臨時社員45名となっている。

会社構成は総務部、事業推進部、旅客運送事業部の3つの部に大別され、指定管理業務は総務部と事業推進部に属している。

## (2) 事業の実施状況

### ア 業務内容

#### ① 株式会社やまびこスケートの森

- ・屋内アイススケートリンクの経営
- ・スポーツトレーニングセンターの経営
- ・スケートクラブの運営及びスケート教室の運営
- ・宿泊施設及び飲食店の経営
- ・一般貸切旅客自動車運送業
- ・健康、福祉施設の管理運営
- ・各種体育競技施設等の管理運営

- ・針、きゅう、マッサージ等施術所の運営
- ・各種催事の企画実施等

② 岡谷市やまびこ国際スケートセンター

業務区分	業務内容
施設の使用許可等に関する業務	・スケートセンターの使用許可等に関する業務
窓口受付業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種窓口対応</li> <li>・施設の利用受付</li> <li>・案内</li> <li>・施設使用料の徴収</li> <li>・徴収金、つり銭の管理</li> <li>・備品等の貸出等</li> <li>・利用者数、使用料収入等の報告書作成・提出</li> </ul>
専用使用予約受付業務	・競技大会、団体使用等による施設の専用使用に係る予約受付
スケート靴、用具等の貸出業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スケート靴の適正保管</li> <li>・スケート靴の履き方指導等</li> </ul>
製氷、整氷業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スケートリンクの製氷</li> <li>・整氷に関する業務</li> </ul>
安全管理業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リンク内の監視</li> <li>・利用者の安全管理等</li> </ul>
応急措置業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設における傷病者への応急措置</li> <li>・事故対応</li> </ul>
駐車場運営業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駐車場の安全管理</li> <li>・車両の誘導</li> <li>・事故、盗難の未然防止等</li> </ul>
その他の業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議室の運営</li> <li>・公共情報の提示</li> <li>・禁煙の対応</li> <li>・懸垂幕等の活用</li> <li>・災害時の対応・災害発生の対応マニュアルの整備</li> <li>・利用促進</li> <li>・利用者ニーズの反映</li> </ul>

③ 岡谷健康福祉施設（ロマネット）

業務区分	業務内容
施設の管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員等配置</li> <li>・施設保守管理、美観の維持</li> <li>・施設設備等の点検（日常点検、定期点検）</li> <li>・施設に瑕疵が生じた場合の報告、利用者の安全確保</li> <li>・備品管理</li> <li>・清掃業務（日常清掃）</li> </ul>
施設の運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害その他の緊急事態への対応マニュアル作成、利用者安全確保体制の整備</li> <li>・食堂の経営</li> <li>・職員の教育</li> </ul>
業務報告	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業計画及び収支予算書の作成・提出</li> <li>・毎月の利用者数、収入状況の報告書作成・提出</li> <li>・施設運営状況報告書作成・提出</li> </ul>

イ 施設の利用状況等

① 施設の使用料（市の一般会計へ納められる収入）

岡谷市やまびこ国際スケートセンター使用料 (単位：円)

区 分	令和4年度	令和3年度	対前年度比
一回券	1,356,760	1,042,640	314,120
回数券	496,250	350,508	145,742
シーズン券	553,375	647,610	△ 94,235
入場券	229,460	268,351	△ 38,891
専用使用	748,160	374,080	374,080
貸靴	1,892,630	1,293,200	599,430
コインロッカー	14,300	13,300	1,000
計	5,290,935	3,989,689	1,301,246

※岡谷市スポーツ施設条例に規定する施設の使用料収入については、基本協定書第25条により、株式会社やまびこスケートの森が徴収し、岡谷市の指定金融機関へ払い込む取り扱いとなっている。

※使用料は無料となるものや年齢等により金額が異なるものなどがあるため施設利用者数とは必ずしも比例するものではない。

② 施設の利用者

【アイスアリーナ】

区 分	令和4年度	令和3年度	増 減	対前年度比
入場者数	44,666人	41,349人	3,317人	108.0%

【トレーニングセンター】

区 分	令和4年度	令和3年度	増 減	対前年度比
利用者数	20,771人	17,209人	3,562人	120.7%

【宿泊施設ロッジ・ログコテージ】

区 分	令和4年度	令和3年度	増 減	対前年度比
宿泊者数	3,369人	1,861人	1,508人	181.0%

【貸切旅客運送事業】

区 分	令和4年度	令和3年度	増 減	対前年度比
延運行台数	758台	596台	162台	127.2%

【岡谷市やまびこ国際スケートセンター（指定管理）】

区 分	令和4年度	令和3年度	増 減	対前年度比
利用者数	14,700人	11,182人	3,518人	131.5%

【岡谷健康福祉施設ロマネット（指定管理）】※利用者数は有料利用者数のみ計上

区 分	令和4年度	令和3年度	増 減	対前年度比
利用者数	225,550人	194,418人	31,132人	116.0%

③ 事業の実施状況等

新型コロナウイルス感染症の影響が続く中での営業となり、各部門で入館者及び利用者数は令和3年度より増えたが、コロナ禍以前の状況までには戻っていない。主な事業の実施状況は次のとおりである。

(実施した自主事業)

○岡谷市やまびこ国際スケートセンター

- ・12/4 やまびこカップスピードスケート競技会

新型コロナウイルス感染症への感染予防対策のため、参加者を制限するなど、規模を縮小して実施

- ・1/14、1/28 初心者スケート教室

- ・1/28 記録にチャレンジ初心者記録会

○岡谷健康福祉施設（ロマネット）

- ・売店運営

- ・ケア事業

(新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止した自主事業)

○岡谷市やまびこ国際スケートセンター

- ・やまびこフリーマーケット

- ・リンクオープニングイベント

ウ 決算の状況

① 貸借対照表（令和5年3月31日現在）

（単位：円）

科 目	金 額	科 目	金 額
<b>【資産の部】</b>		<b>【負債の部】</b>	
<b>流 動 資 産</b>	<b>(143,212,232)</b>	<b>流 動 負 債</b>	<b>(42,098,748)</b>
現金及び預金	98,361,883	買 掛 金	1,134,657
売 掛 金	21,810,809	1年以内返済長期借入金	8,940,000
棚 卸 資 産	3,648,950	未 払 費 用	22,335,394
前 払 費 用	69,850	未払法人税等	296,500
未 収 入 金	19,414,709	預 り 金	799,229
未収還付法人税等	372	前 受 収 益	516,080
立 替 金	23,820	仮 受 金	4,076,888
仮 払 金	14,839	賞 与 引 当 金	4,000,000
貸 倒 引 当 金	△133,000		
<b>固 定 資 産</b>	<b>(130,801,848)</b>	<b>固 定 負 債</b>	<b>(36,232,000)</b>
<b>有 形 固 定 資 産</b>	<b>(128,290,187)</b>	長 期 借 入 金	36,232,000
建 物	53,389,446		
構 築 物	10,839,475	<b>負 債 合 計</b>	<b>78,330,748</b>
機 械 ・ 装 置	31,507,827	<b>【純資産の部】</b>	
車両及び運搬具	150,006	<b>株 主 資 本</b>	<b>(195,683,332)</b>
器具及び備品	9,743,201	資 本 金	72,250,000
建物附属設備	22,660,232	資 本 剰 余 金	(214,924,133)
<b>無 形 固 定 資 産</b>	<b>(2,330,232)</b>	その他資本剰余金	(214,924,133)
ソフトウェア	1,723,032	資本金資本準備金減少差益	214,924,133
施設利用権	607,200	<b>利 益 剰 余 金</b>	<b>(△88,990,801)</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>(181,429)</b>	その他利益剰余金	(△88,990,801)
出 資 金	50,000	繰越利益剰余金	△88,990,801
差入保証金	50,000	<b>自 己 株 式</b>	<b>△2,500,000</b>
長期前払費用	81,429		
		<b>純 資 産 合 計</b>	<b>195,683,332</b>
<b>資 産 合 計</b>	<b>274,014,080</b>	<b>負 債 ・ 純 資 産 合 計</b>	<b>274,014,080</b>

○資産等の状況（貸借対照表）について

（資産の部）

流動資産は143,212千円（対前年度比48,777千円の減）で、主なものは、現金及び預金98,361千円（対前年度比27,477千円の減）、固定資産は130,801千円（対前年度比22,609千円の増）で、主なものは、建物53,389千円（対前年度比27,669千円の増）、機械・装置31,507千円（対前年度比3,596千円の減）、建物附属設備22,660千円（対前年度比3,293千円の減）となっている。

（負債の部）

流動負債は42,098千円（対前年度比10,962千円の減）で、主なものは、未払費用22,335千円（対前年度比3,874千円の減）となっている。

固定負債は長期借入金で36,232千円（対前年度比18,560千円の増）となっている。

（純資産の部）

株式資本は195,683千円（対前年度比33,767千円の減）で、内訳は資本金72,250千円（前年度同額）、資本剰余金214,924千円（前年度同額）、利益剰余金△88,990千円（対前年度比31,267千円の減）、及び自己株式取得による2,500千円を引いた195,683千円（対前年度比33,767千円の減）が純資産の合計となり、当期純損失31,267千円に前年度繰越欠損金57,723千円を合わせた当年度繰越欠損金は88,990千円となっている。

なお、自己株式取得については、株主であった企業（バイメックス）が廃業したことから取得したものである。

② 損益計算書（令和5年3月31日現在）

（単位：円）

科 目	金 額		
<b>I 売上高</b>			
アリーナ収入	73,644,610		
トレーニング等収入	44,233,458		
宿泊・レストラン収入	36,088,915		
管理委託・手数料収入	198,132,561	352,099,544	
売上値引・戻り高		△ 3,600	352,095,944
<b>II 売上原価</b>			
期首棚卸高		2,814,024	
商品仕入高	12,731,342		
宿泊仕入	9,707,421		
その他の原価	17,297,648		
NTC仕入	0		
仕入値引・戻し高	△ 0	39,736,411	
当期製品製造原価		0	
合計		42,550,435	
他勘定振替高		0	
期末棚卸高		3,008,986	39,541,449
売上総利益			312,554,495
<b>III 販売費及び一般管理費</b>			
販売費及び一般管理費		387,390,785	387,390,785
営業損失			74,836,290
<b>IV 営業外収益</b>			
受取利息		1,148	
受取配当金		1,000	
雑収入		44,781,725	44,783,873
<b>V 営業外費用</b>			
支払利息		727,065	
手形売却損		0	
貸倒償却		0	
繰延資産償却		0	
雑損失		185,570	912,635
経常損失			30,965,052
<b>VI 特別利益</b>			
固定資産売却益		0	
補助金収入		60,011,800	
前期損益修正益		0	60,011,800
<b>VII 特別損失</b>			
固定資産売却損		0	
固定資産圧縮損		60,011,800	
たな卸資産評価損		0	
前期損益修正損		5,491	60,017,291
税引前当期純損失			30,970,543
法人税、住民税及び事業税		296,500	296,500
当期純損失			31,267,043

③ 部門別損益計算書 第31期（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

（単位：千円）

	アイスアリーナ	トレーニングセンター	宿泊	レストラン	国際スケートセンター	旅客運送	ロマネット	合計	前年度	
										差額
アイスアリーナ収入	74,150							74,150	70,743	3,407
トレーニングセンター収入		44,233						44,233	36,038	8,195
宿泊			16,525					16,525	12,145	4,380
レストラン収入				19,564				19,564		19,564
国際スケートセンター収入					73,451			73,451	71,037	2,414
旅客運送収入						24,766		24,766	21,619	3,147
ロマネット収入							99,406	99,406	84,830	14,576
すわっこランド								0	133,647	△ 133,647
売上高	74,150	44,233	16,525	19,564	73,451	24,766	99,406	352,095	430,059	△ 77,964
売上原価	6,602	3,558	135	18,467	585	3,777	6,417	39,541	38,331	1,210
売上総利益	67,548	40,675	16,390	1,097	72,866	20,989	92,989	312,554	391,728	△ 79,174
給与	24,346	27,627	7,205		25,758	12,798	38,359	136,093	196,111	△ 60,018
賞与	2,416	3,696	942		1,868	976	976	10,874	12,180	△ 1,306
法定福利費	2,346	4,334	1,164		3,443	1,764	3,140	16,191	17,687	△ 1,496
旅費交通費	14	105				29	11	159	60	99
通信費	826	294	221	220	246		323	2,130	3,103	△ 973
衛生管理費	1,561		2,731	530	1,513		9,736	16,071	18,072	△ 2,001
その他の販売	5	1		2				8	0	8
賃借料・リース料	2,638	2,317	1,728	1,156	50	3,858	1,284	13,031	15,103	△ 2,072
修繕費・保守料	2,405	399	881	314	10,105	2,873	9,408	26,385	34,957	△ 8,572
事務用消耗品	207	129	14	25	252		332	959	1,110	△ 151
備品・消耗品	2,059	1,300	2,687	962	15,281	1,240	1,809	25,338	26,918	△ 1,580
水道光熱費	26,231		3,568	2,655	20,340		51,131	103,925	132,682	△ 28,757
租税公課	1,119	130	274		6	152	19	1,700	439	1,261
接待交際費	92		1			7		100	23	77
会議費	193							193	109	84
会費	241	231	36		4	94	11	617	650	△ 33
寄付金	10						15	25	10	15
広告宣伝費	307	267	125	537	80	198	1,664	3,178	2,800	378
保険料	447	408	507	272	72	558	288	2,552	3,187	△ 635
福利厚生費	1,260	1,980	347		1,084	397	995	6,063	8,120	△ 2,057
管理費	5,136	1	162	333	216	181	1,329	7,358	9,010	△ 1,652
新聞図書費	107	33		2			62	204	283	△ 79
雑費	374	133	1		1	1	193	703	594	109
減価償却費	8,593	137	2,835	839	75	751	301	13,531	13,061	470
貸倒償却								0	183	△ 183
販売費及び一般管理費	82,933	43,522	25,429	7,847	80,394	25,877	121,386	387,390	495,462	△ 108,072
営業損益	△ 15,385	△ 2,847	△ 9,039	△ 6,750	△ 7,528	△ 4,888	△ 28,397	△ 74,836	△ 103,734	28,898
営業外収益	7,535	12		7	6,083	2,929	28,218	44,784	73,211	△ 28,427
営業外費用	913							913	263	650
経常損益	△ 8,763	△ 2,835	△ 9,039	△ 6,743	△ 1,445	△ 1,959	△ 179	△ 30,965	△ 30,785	△ 180
特別利益								60,012	176	59,836
特別損失								60,017	4	60,013
県民税・事業税								296	456	△ 160
当期純利益								△ 31,267	△ 31,065	△ 202



#### ○経営状況について

令和4年度（第31期）の営業収益は、アイスアリーナ事業74,150千円（対前年度比3,407千円の増）、トレーニング事業44,233千円（対前年度比8,195千円の増）、宿泊事業16,525千円（対前年度比4,380千円の増）、レストラン事業19,564千円（皆増）、やまびこ国際スケートセンター事業73,451千円（対前年度比2,414千円の増）、貸切旅客運送事業24,766千円（対前年度比3,147千円の増）及び、ロマネット指定管理事業99,406千円（対前年度比14,576千円の増）であり、売上高は352,095千円となるが、すわっこランドの指定管理事業がなくなったことから、対前年度比は77,964千円の減となっている。

販売費及び一般管理費は387,390千円（対前年度比108,072千円の減）で、主な内訳は、給与手当136,093千円（対前年度比60,018千円の減）、水道光熱費103,925千円（対前年度比28,757千円の減）、修繕費・保守委託料26,385千円（対前年度比8,572千円の減）、備品・消耗品費25,338千円（対前年度比1,580千円の減）、法定福利費16,191千円（対前年度比1,496千円の減）となっている。

また、営業外収益は44,784千円（対前年度比28,427千円の減）、営業外費用は913千円（対前年度比650千円の増）となっている。

この結果、経常損失は30,965千円（対前年度比180千円の増）となり、当年度純損失は、31,267千円（対前年度比202千円の増）となっている。

### 3 監査の結果

今回、財政援助団体監査の対象となった株式会社やまびこスケートの森の事業報告書、収支決算書等の確認を行った結果、岡谷市からの支出並びに指定管理の目的に沿って、公の施設の管理・運営及び事務処理は、おおむね適正に行われているものと認められた。

その他、軽微な指導事項等については、監査の過程で改善又は留意を促したので、本報告書では省略した。

### 4 意見・要望事項

#### （全般的な事項について）

株式会社やまびこスケートの森は、会社設立以来、アイスアリーナをはじめとした冬季スポーツの総合施設を目指し、地域を核とし地域に愛され親しまれる施設として営業展開を図っており、複数の自治体等から介護予防・健康教室の委託を受け、地域と連携した健康増進事業を積極的に行っ

ている。岡谷市やまびこ国際スケートセンターはアイスアリーナや宿泊施設との連携により、スケート競技の底辺拡大と競技力の向上や、市民のスポーツ振興と健康増進を図り、安定的かつ経費縮減に向けた管理運営に努めている。岡谷健康福祉施設ロマネットは「キープクリーン」、「キープスマイル」を合言葉に掲げ、清潔な施設の維持、笑顔での接遇等に心がけた施設運営ができています。近年は新型コロナウイルス感染症や光熱費高騰という特殊事情により赤字が続いているが、指定管理者自らの創意工夫と経験を生かした自主事業等の充実を図り、利用者拡大と収入確保に努め、引き続き、施設の適正な管理と利用者目線での質の高いサービスの向上を図られたい。

地域創生推進課、健康推進課、スポーツ振興課においては、今後とも、所管課として指導・監督を行い、管理業務の履行確認に十分留意するとともに、改善を要するものについては、迅速にその措置を講じられたい。

以下、意見要望事項について個別に記述する。

#### **(旅客運送事業について)**

旅客運送事業においては、近年乗務員の人手不足が深刻化している。現在、所有バス台数に対し乗務員は1名多い状況だが、乗務員不足は社会的な問題のため、今後の事業展開も見据え、継続的な採用活動に取り組まれたい。

また、国土交通省による公示運賃の見直しや旅客自動車運送事業運輸規則の改正による新制度についても適正な対応に努められたい。

#### **(利用料について)**

岡谷健康福祉施設ロマネットの利用料は、現金かプリペイドカードでの支払いである。経営を安定させる取組の一つとして、支払方法に電子マネー・QRコード決済の導入を検討されているが、岡谷市民にとって利便性の高いオカヤペイの利用促進は、市民サービスの向上や地域の賑わいの創出、地域経済の下支えにつながることから、オカヤペイの導入についても検討されたい。

#### **(備品等の管理について)**

市から貸与されている備品等については、基本協定書の中で常に良好な状態に保たなければならないとされており、業務仕様書に備品一覧表を添付し管理している。しかしながら、現在仕様書に添付されている備品一覧表は実際の備品の状況が反映されていないため、正確なデータを反映した書類を添付し、正しい情報を共有されたい。また、随時、定時に備品等を確認のうえ、特に老朽化や修理不能な故障などにより廃棄等が必要な場合には、迅速かつ適正に処理を行うよう努められたい。

#### **(アンケート等における利用者ニーズの把握について)**

施設利用者にアンケート調査を行い、直接寄せられる意見・要望に対し、様々な改善を行って

いるところであるが、更なるサービス向上のためには潜在ニーズの掘り起こしが大切と考える。現状のアンケート調査方法は期間や対象者が限定されていることから、アンケートの内容や方法について工夫し、より多くの施設利用者の声を聴き、利用者のニーズを把握するとともに、質の高いサービスを提供できるよう、積極的に取り組まれない。

**(ホームページ等による情報発信について)**

利用者の増加には情報発信が重要であるが、岡谷健康福祉施設（ロマネット）のホームページについては、近年内容の更新がされていない。SNS等も情報発信ツールの一つとなることから、ホームページの更新のほか、利用者に魅力を感じてもらえる情報発信の方法と、積極的な活用について検討され、利用者の増加につながる取組に努められたい。